

施工上のご注意

250926-JK-002CLORLSM

開口部の準備

- ❗ 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。
- ❗ 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- ❗ 柱の垂直、床・まぐさの水平を下げ振り・水準器でよく確認してください。垂直、水平が出ていないと、上下ストッパーのキャッチ力が不足し、扉の開閉時に扉がキャッチから外れる場合があります。

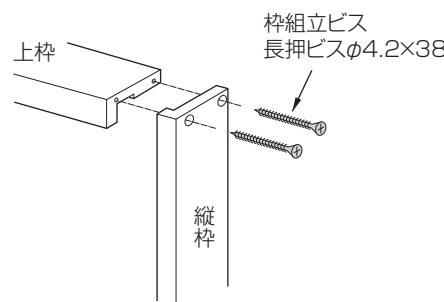
	3尺間口	4.5尺間口・6尺間口
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上

本体の組み立て

枠の組立て・施工手順（方法）

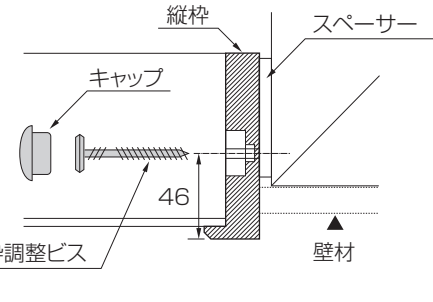
1. 枠の組立て

※図は固定枠です。

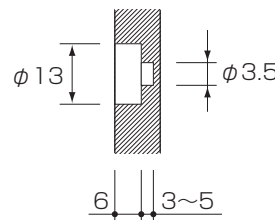


2. 縦枠の取付け

※図は固定枠です。



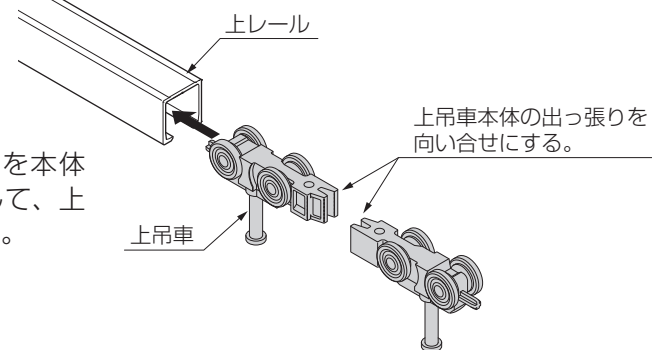
※6尺高の場合、縦枠下より150mm前面より46mmの位置で内側よりφ13、深さ6mmのリード穴を開けビス固定してください。



3. 上吊車、仮固定ストッパーの取付け

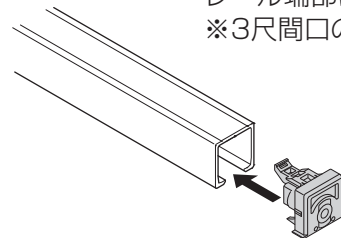
レールを枠に取付ける前に、上レール内のゴミを除去し、上吊車・仮固定ストッパー（上）を挿入してください。

■上吊車の挿入



■仮固定ストッパーの取付け

レール端部に仮固定ストッパーを押し込む。
※3尺間口の場合は吊元側に取付けてください。

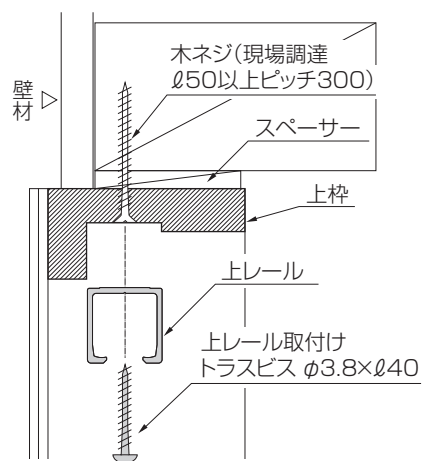


❗ 部品の上下の向きに注意してください。

4. 上枠・上レールの取付け

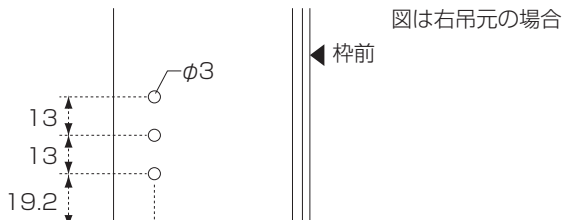
＜固定枠＞

枠とまぐさの隙間を調整したあと、隙間に接着剤を塗ったスペーサーを図のような幅で入れ、ビスで締め付けてください。



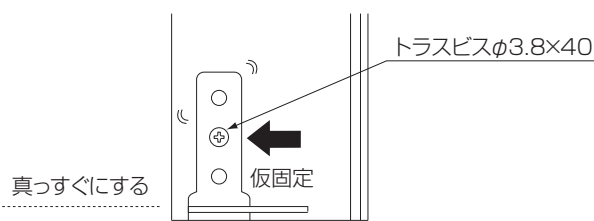
5. ピボット受金具の取付け

①型紙を使ってφ3程度のリード穴を開ける。

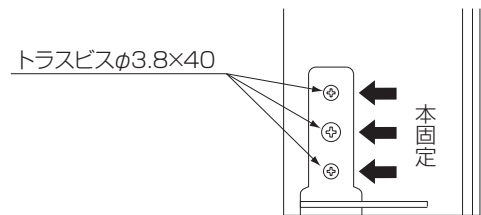


※（ ）は見切枠の場合（特注のみ）

②図のように、まん中のビス穴を仮固定し、傾きや位置を調整する。



③残り2カ所をビス固定し、本固定する。



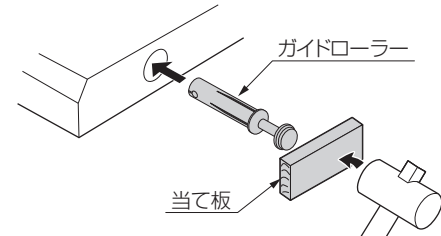
❗ 注意 金具は必ず真っすぐに固定してください。傾いた状態で使用すると、開閉の際に扉と金具が接触したり、開閉不良の原因となります。

扉の取り付け

250926-JK-002CLORLSM

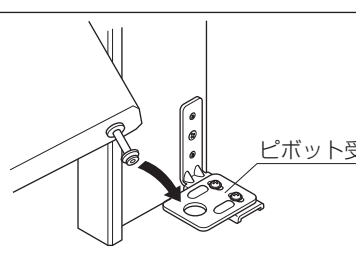
1. ガイドローラーの取付

当て板をあてて吊元側の扉下部にガイドローラーを打ち込んでください。
※ガイドローラーを直接叩くと破損する場合があります。必ず当て板をあててください。
※つばに引っかかって止まるまでしっかりと打ち込んでください。



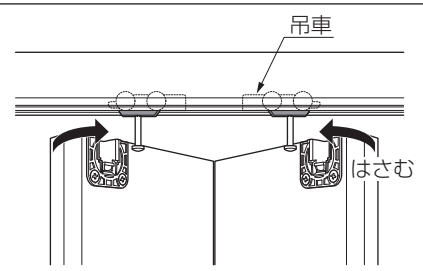
2. ピボット受への落としこみ ①

ピボット受にガイドローラーを落とし込んでください。



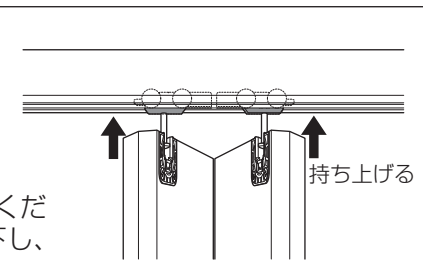
3. 吊車のはさみ込み ②

吊車の軸を扉のベースカップ溝部ではさみ込んでください。



4. 扉の持ち上げ・扉の吊り込み ③

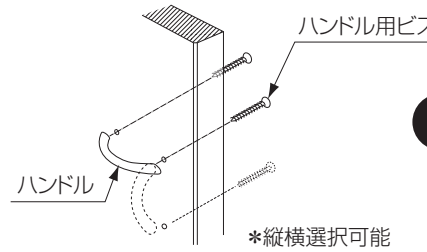
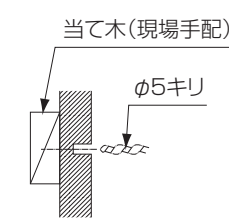
扉を持ち上げて、扉を吊り込んでください。吊車の軸がしっかりと嵌合されていることを確認してください。



❗ 注意 扉が確実に取付いていることを確認してください。確実に取付いていないと、扉が落下し、ケガをするおそれがあります。

5. ハンドルの取付け

ハンドルの取付け位置（左右、縦横）を決め、扉裏面のリード穴をφ5のキリで貫通させ、ハンドルを取り付けてください。



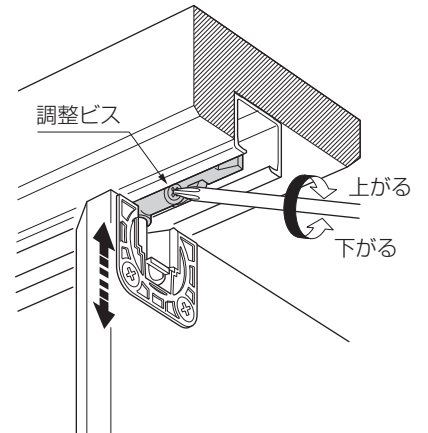
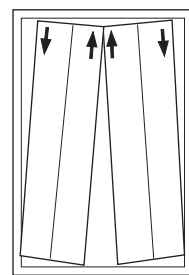
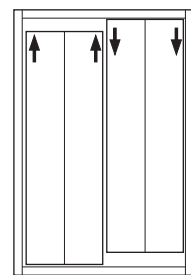
❗ 扉表面に当て木（現場手配）をあて、パリの発生を防いでください。

※縦横選択可能

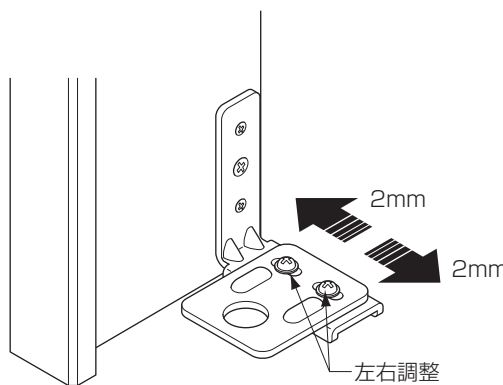
6. 扉の位置調整

上下調整（調整量6mm）

◆扉に段差、傾きがある場合は、上吊車の調整ビスを、プラスの手回しドライバーで回してください。



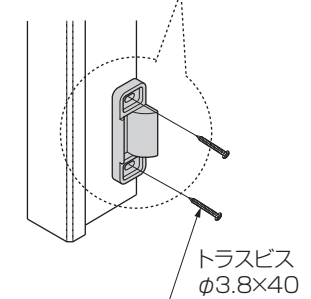
左右調節（調整量4mm）



7. 「振れ止め」の取付（3尺間口のみ）

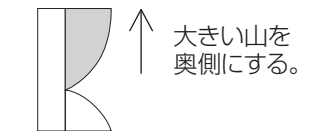
＜枠＞

型紙を使ってφ3程度のリード穴を開け、取付けてください。



図は右吊元の場合

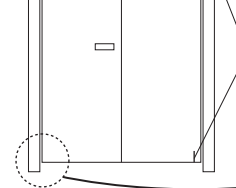
※吊元と逆側の縦枠に取り付けます。
※部品の向きに注意!!



＜扉＞

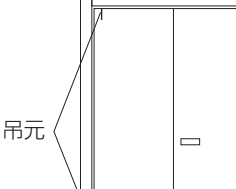
■右吊元の場合

扉裏面、戸先側に図のように部品端部を合わせ、同梱のビス（φ3.5×16）で固定する。

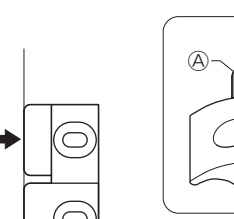


※リード穴を開けてから取付けしてください。

■左吊元の場合



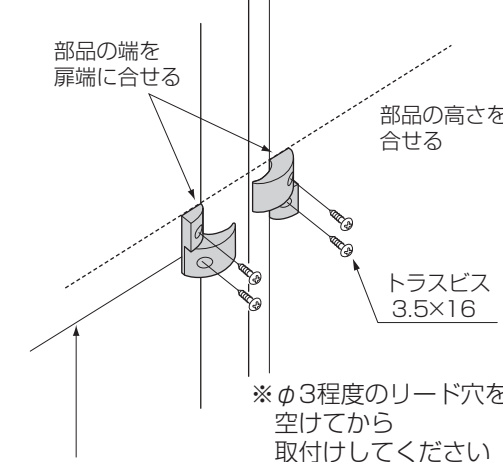
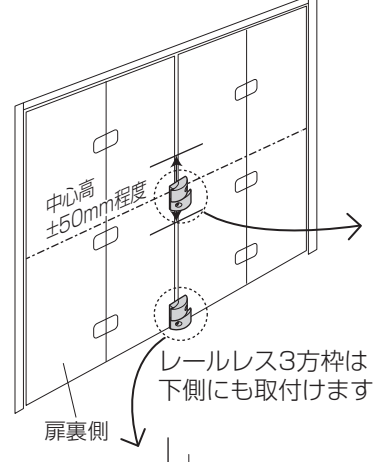
※リード穴を開けてから取付けしてください。



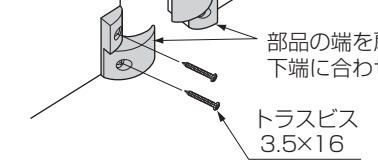
8. 召し合せの取付（4.5～6尺間口）

扉中央と扉下端に取付してください。

◆召し合せ部品は右側と左側の折れ戸扉の段差を軽減するための部品です。必ず取り付けてください。



※φ3程度のリード穴を開けてから取付けしてください



※φ3程度のリード穴を開けてから取付けしてください